

2011年を振り返って

島田病院 院長 河崎 収

2011年を振り返ってみますと、国内外ともに激動の一年でした。世界に目を向ければ、中東・北アフリカ諸国で「中東の春」と呼ばれる反体制運動が続発し、チュニジア、エジプト、リビアの長く続いた独裁政権が崩壊しました。このような反体制運動の拡がりにはツイッターやフェイスブックなどソーシャルネットワークの媒体が大きな役割を果たしたと言われていいます。新しい情報伝達様式が政治の世界にも大きな影響を及ぼすようになり、民主主義にも新しい形が見えてきたようです。経済面ではギリシャの財政危機をきっかけに燎原のごとく拡がった欧州ソブリン危機の本格的解決の目処が立たず、ユーロ崩壊の危機が囁かれています。さらに、米国国債信用格下げに見られるように基軸通貨としてのドルの信用低下、米国経済の失速と、世界同時不況から、さながら世界恐慌前夜の様相を呈しています。

共産主義に勝利した資本主義体制もその内部から矛盾が噴出し混迷状態に陥っています。世界史的に見ても政治・経済の歴史的な転換点にさしかかっているように思えます。

東日本大震災と原子力発電所の事故

国内問題で忘れてならないことは東日本大震災と原子力発電所の事故です。今回の震災や津波事故では、直接被害にあわれた方々だけでなく他の人々にも大きな衝撃を与えたのではないかと思います。3月11日は、戦後に築かれてきた価値観や規範、道徳、文化、生活様式などをもう一度見直す機会でもありました。

マスコミでは「絆」ということばが頻繁に取り上げられ流行語にもなりました。家族や友人、地域コミュニティの「絆」が一瞬にして引き裂かれた状況や復興に携わる人たちの心温まる連帯をまえに、あらためて失われつつあった人間社会の「絆」を再考しようとする意識が多くの人たちに芽生えたのでしょう。

原子力発電所の事故では科学技術への過信や科学文明の利便性の裏に潜む危険性が浮彫りになりました。「原子力の平和利用」の名の下に原子力発電が国策として推進され、なに不自由なく電力を消費し原子力発電の恩恵を受けてきた国民にとっては、核に対する恐怖や危険性が希薄になっていたのも事実です。事故後、核に対する新事実や多くの情報が明らかになる中で、原子力の「安全神話」は完全に崩壊しました。やっと原子力発電に対する本質的な議論が開始されるようになったことは今後のエネル

ギー政策に関してきわめて有益なことだと思えます。

社会保障費の日本経済への影響

医療に目を向けますと、今年は診療・介護報酬の同時改定が行われます。2010年の社会保障給付費は105.5兆円が見込まれており、そのうち医療分野は約30%(32.1兆円)を占めています。急速に進む高齢化に伴い、今後、社会保障給付費の急激な増加が予想されます。財務省の試算では2015年で116兆円、2025年では141兆円と推測されています。震災復興や原発事故処理にかかる膨大な復興コストも国家財政に重くのしかかってきており、今後の社会保障制度改革にも少なからず影響が出るものと考えられます。

政府は「税と社会保障の一体改革」のもと安定財源確保の手段として消費税を中心とした増税路線を打ち出しています。税収が減少し多額の赤字国債発行に頼らざるを得ない現状を考慮すると国民に相応の負担を求めることは避けられないことであると理解できます。しかし、デフレ不況や円高による景気低迷下での増税は、日本経済にさらに大きな負の影響を与えることになるのではないかと危惧しています。

増税・経済戦略と医療保険制度

今後の社会保障の財源を確保するためには、経済を成長路線に乗せ景気を回復し、税の増収、財政健全化を図っていくことが重要ですが、政府は有効な経済対策を打ち出せず、増税という国民負担のみに依存しているように思います。国民負担率(租税負担率+社会保障費負担率)は国際的水準からすれば、まだ低値ですが、国民負担にはおのずと限界があり、いずれ頭打ちになります。一国の社会保障制度はその国の経済規模や経済力に規定されることを考えると、長期的視点にたった経済成長戦略が求められます。このまま経済が縮小していけば、社会保障の縮小化も避けられなくなります。

政府はアジア・太平洋の成長を取り込むという新たな経済戦略として、TPP(Trans-Pacific Partnership:環太平洋戦略的経済連携協定)参加を推進しようとしています。アジアの成長をリードしてきた中国、インド、韓国の参加がないため、日本にとつ

[次頁へ続く▶](#)


てもどれだけメリットがあるのかわかりません。TPP参加において関税が撤廃されると安価な農作物が大量に国内に流入することにより国内の農業は大打撃を被るといわれています。大きな影響を受けるのは農業だけではなく、日本が開放すべきは関税だけでなく、非関税障壁にも及ぶ可能性が高くなります。非関税障壁には、社会的規則、安全規則、取引慣行、果ては言語や文化にまで外国企業が日本市場に参入する際に障壁となるものすべてが含まれます。保険制度や医療制度にも大きな影響が及ぶことが懸念されており、日本の医療保険制度も米国のように市場主義の危険にさらされる可能性があることを銘記しておく必要があります。

私たちの掲げる理念

昨年12月21日、今年度の診療報酬改定率が発表されました。全体ではわずか0.004%のアップになることで決着しました。事実上の据え置きですが、現状の財源不足からすればやむ

を得ないのかもしれない。詳細な内訳は不明ですが、医科本体については、1.55%の増額となっており2010年度同様プラス改定となったのは評価できると思います。長く続いた医療費抑制政策の過程で日本の医療は荒廃しました。このようなことが繰り返されることのないよう願っています。

私たち医療者には、診療報酬という「統制価格」の縛りの中で安全で質の高い医療を、サービスの劣化なく、いかに効率的に展開していくかが問われています。

本年度も私たちのグループの掲げる理念

「その人がその人らしく自分の人生を全うすることをWarm Heart:心 Cool Head:知識 Beautiful Hands:技術 で支援します」に基づいて地域医療に積極的に取り組んで参ります。昨年同様、みなさま方の暖かいご支援とご指導をお願いいたします。

インフォメーション

ペインクリニック整形外科診療体制変更のお知らせ

平成23年12月19日より、ブロック注射等を実施しているペインクリニック整形外科の診療体制を下記の通り変更いたします。これまでの竹内医師に変わり、担当医制とさせていただきます。何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



ペインクリニック整形外科

	受付時間	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	8:30~ 15:30	9:00~ 15:30	竹内 (予約のみ)		竹内 (予約のみ)		竹内 (予約のみ)	

平成23年12月19日以降



ペインクリニック整形外科

	受付時間	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	8:30~ 11:00	9:00~ 11:30	担当医 (予約のみ)			担当医 (予約のみ)		
午後	13:30~ 16:00	14:00~ 16:30		担当医 (予約のみ)		担当医 (予約のみ)		

再来受付機導入のお知らせ

平成23年12月16日より、再来受付機を導入しました。再診のご予約のある患者さま(リハビリを含む)は、総合受付横に設置されています再来受付機をご利用ください。使用方法のご案内をさせていただきますので、ご不明な点につきましては、総合受付までお気軽にお声かけください。初診の患者さまにつきましては、これまで通り総合受付にて受付させていただきます。何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

野球のバッティング障害(腰) 前編

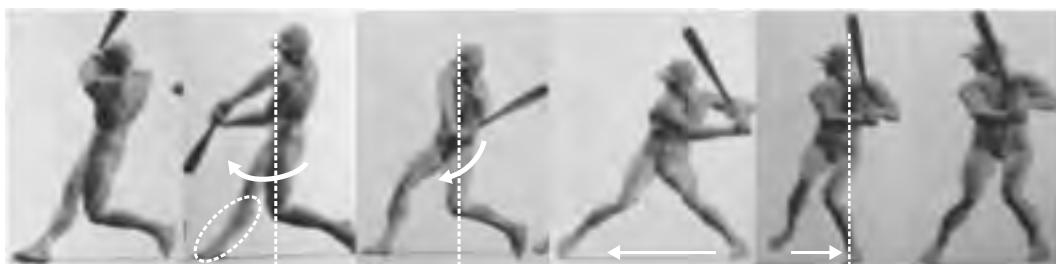
○はじめに

野球のバッティング動作が原因で発生する障害の部位は、主に腰・手首・膝がありますが、今回は前編・後編に分けて腰の障害をご紹介します。前編では、一般的なバッティング動作のメカニズムと障害発生につながるフォーム、次回の後編では、フォームを改善するためのチェック方法と運動療法をご説明します。

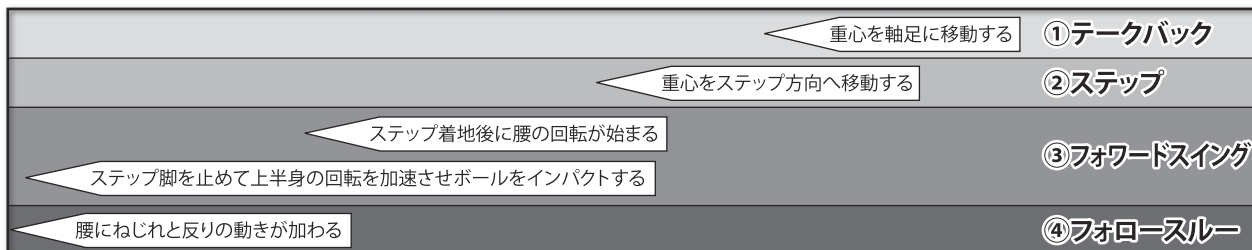
○バッティング動作のメカニズム

バッティング動作は、下半身の体重移動から腰が回転し、これに続いて上半身が回転してボールのインパクトの直前でステップ脚の動きを止めます。このことによって、腰や上半身の動きが加速され、的確にボールを捕らえることで強い打球を打つことができます。このように、バッティング動作は下半身からの効率的で連続した全身運動によって成り立っています。(図1)

打撃終了 ← インパクト ← ステップ足の着地 ← 構え

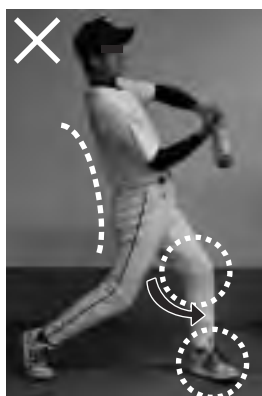


(図1)



○バッティング障害につながるフォーム(例)

バッティング動作は上記の通り、インパクトの瞬間からフォロースルーにかけて腰がねじれて反ります。腰の過剰なねじれと反りを防ぐためには、ステップ脚のつま先を内側(ベース方向)に向けて、股関節を中心に腰を回転させることが重要です。(図2、3)また、骨盤(腰)の前傾姿勢(背中が伸びた状態)を保つことも大切なポイントです。(図4、5)



(図2) 腰の回転とともにステップ脚も回転し、膝先がピッチャー方向に向いて上体がねじれて反っています。



(図3) 膝・つま先が内側を向き、ステップ脚の左股関節(左脚の付け根の関節)を中心に腰が回転しています。



(図4) 骨盤が後傾姿勢(腰-太ももが「逆くの字型」ではなく膝がつま先より前に出ている)でステップしているため、膝で体重を受け止めるため股関節を中心に腰が回転しにくい姿勢です。



(図5) 骨盤が前傾姿勢(腰-太ももが「逆くの字型」)でステップできているため、左股関節を中心に腰が回転する姿勢となっています。

はあとふるグループ 使命

私たちは、良質のヘルスケアサービスを
効率よく地域の方々に提供し続けます

はあとふるグループ 理念

私たちは、その人がその人らしく自分の人生を全うすることを
Warm Heart : 心 Cool Head : 知識 Beautiful Hands : 技術
で支援します

島田病院 理念

人間愛にもとづく確かな知識と技術により、
信頼でつながるチームで、安全に、
心に届くサービスを提供します

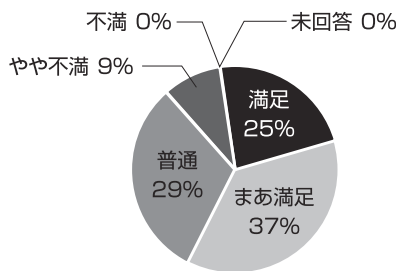


食事満足度調査結果

栄養管理課では、「入院中の食事の質の向上」を目的に、患者様への食事満足度調査を毎年2回実施しております。今回は、平成23年10月に実施致しました調査結果を発表します。

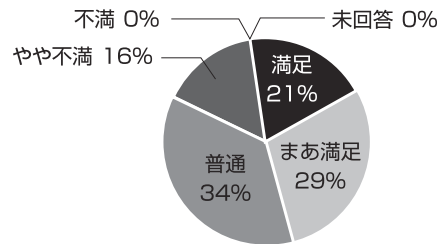
期間:平成23年10月24日~11月25日 対象者:入院患者様80名 回収率:70%(80名中56名回収)

お食事全体

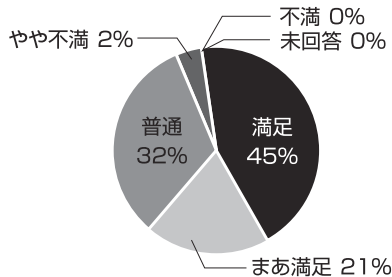


味付け

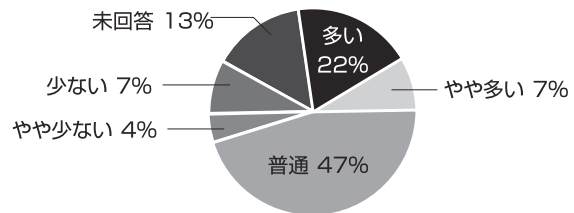
「やや不満」「不満」と答えられた理由 ・味が薄い…10名



温かさ



術後食の量



その他ご意見(原文のまま一部抜粋)

- 病院食が想像以上においしかった。
- 冷たい物は冷たく、温かい物は温かくきめ細やかで有り難いです。
- 温かいうちに食べられお米もおいしいです。
- 減塩食、ちょうど良いお味です。
- 自分が食べにくいので相談させてもらったところ、希望通りにして頂きありがたいと思いました。
- 自居食よりバランスがとれておいしくいただきました。
- 病院食として量もそこそこあり味も普通味より少し薄めでよい。
- ということなし。特に濃くもなく、薄くもないです。大変料理は良いです。
- おにぎりに味付けなさすぎた。
- 夜は汁物がほしい。
- 量が多かったです。
- 前回入院していた時の方が美味であったような気がします。
- 術後は寝たままなのでおにぎり良いと思います。ゼリーは食べにくかった。バナナはいいのでは。

今回の調査では「うす味」「やや不満」であるとの意見を複数頂きました。うす味は、現代人には誰しも必要な健康管理の手段の1つになります。今一度、ご家庭での味付けを見直す機会にされることをお勧めすると同時に、「うす味でも美味しい!」と感じて頂ける料理を目指して参ります。また、術後食も「食べやすく個々の患者さまに応じた食事」を目指して皆さまのご意見を参考に、内容の充実を検討して参ります。

アンケート調査にご協力頂き、有り難うございました。

栄養管理課

医療法人(財団)
永 広 会

島田病院

〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1
TEL 072-953-1001 FAX 072-953-1552
ホームページ <http://www.heartful-health.or.jp>

病院の情報に
QRコードで
簡単アクセス

